

「夢」をもち、「夢」に向かって努力する生徒

# 原北中学校 学校通信



令和 2年 8月20日 第8号

福岡市早良区小田部7-11-1

電話 092-851-3344

発行者 校長 福崎 浩信



## 2学期が始まりました・・・

平成28年から始まった教育課程の見直しによる夏休みの短縮を更に上回るわずか13日間の夏休みを経て、今日からいよいよ2学期が始まりました。大きな事件・事故に巻き込まれることなく、2学期の始業日を迎えることができたことを大変嬉しく思います。

2学期も、子どもたちの健康・安全を第一義に、子どもの学びを止めず、日々成長が実感できる教育活動を展開していきます。

5月21日から段階的に始まった新学期の中で、3月から5月の臨時休校中の学習の遅れが十分に回復されたことに伴い、2学期の教育活動を次のように変更するための準備を開始しました。

○9月24日(木)、25日(金)の定期考査を機に、9月28日(月)から、50分授業6コマ(週1日程度は5コマ)に戻します。

○隔週で実施されている土曜授業は、10月までとし、11月以降は、感染状況等を踏まえ、実施回数が検討されます。

9月5日(土) 9月19日(土)

10月3日(土) 10月17日(土) 10月31日(土)

○学習参観や懇談会は、感染症対策を講じながら計画していきます。

※上記教育活動は、8月4日の校長連絡会の内容で今後、変更になることがあります。



## 道は開ける(成せばなる) 「レジリエンス(逆境力)を高める・・・」

千曲川が決壊して大洪水になった長沼地区は、昔から水害に見舞われやすく、1742年の「戌の満水」では168人が亡くなり、約300戸の家屋が流失しました。その後、千曲川は、堤防を補強したり桜の植樹工事が進められたりしてきましたが、再び、令和元年東日本台風(台風19号)は、長野県に大きな被害をもたらしました。しかし、過去の教訓を基に、逃げることを恐れず、いち早く避難したから、地区の人々の多くは無事でした。このニュースを聞いたとき、レジリエンスという言葉が思い浮かべました。「回復力」「復元力」「抵抗力」などととも「逆境力」という意味があります。人間は、自然災害の前には無力ですが、それに備える心構えと、被害から立ち直ろうとする気力、つまり「レジリエンス」が災害列島で生きていく我々には不可欠なのです。

「レジリエンス」は災害時だけでなく、苦しい時をどう乗り切っていくかを模索する力です。そこで大事なことは小さくていいということです。全てを一度に元に戻そうとしても現実的に難しいことです。だからまず、手の届く範囲から修復していくと、「いきなり」は難しくても、一歩ずつなら可能になるのです。「ちょっとした幸せ」「今日より明日」を考えられれば、元気がわいてくるはず。小さなことを目標にレジリエンスを高めて、目の前の困難を乗り越え、課題を解決していきましょう。

## 8月・9月の主な学校行事

8月31日(月)	課題テスト
9月1日(火)	発育測定
9月5日(土)	土曜授業
10日(木)	修学旅行説明会
15日(火)	生徒会役員改選
19日(土)	土曜授業
24日(木)	定期考査①
25日(金)	定期考査②

